

平成 17 年度 江戸川区「行政評価」事務事業分析シート

整理番号	36	作成日	平成 17 年 6 月 20 日
事業名	交差点改良事業（安心歩行エリア 葛西地区）		
所属名	土木部 保全課 設計係	電話番号	(03) 5662-8439（直通）

**事業の目的及び概要**

歩行者及び自転車利用者の安全な通行を確保し、交通安全対策を講じることにより、エリア内の交通事故死傷者数を20%抑止します。具体的には1、交差点を明確に示すために交差点部へカラー舗装の施工 2、交差点への速度抑制のため道路を狭く見せるようにゼブラの設置 3、自転車事故を抑制するために交差点部手前に自転車ストップマークの設置、などを実施。

**事業の開始年度** 平成15年度

**現在の課題**

- ・交通マナーの低下による交通事故の発生
- ・住宅整備の進行による道路死角の増加

**事業の対象者と動向**  区民全体  対象年齢あり（ ）

[丈西地区人口・各年4月1日現在]  対象条件（葛西地区の人口）

14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	対象の傾向
223,768人	226,961人	234,952人	236,594人		↑ 増加傾向

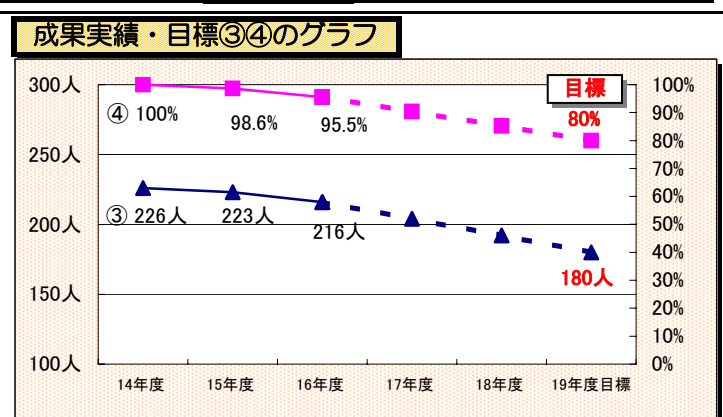
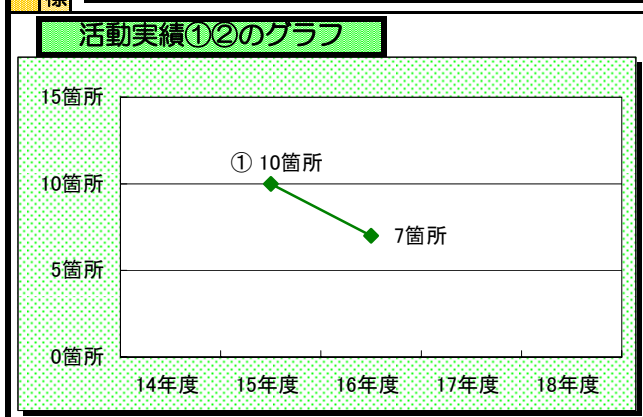
備考：

活動指標	活動指標名	活動指標の説明
①	交差点の改良	1年間に対象地区内で整備した箇所数
②		

活動実績	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度
①		10箇所	7箇所		
②					

成果指標	成果・目標指標名	成果・目標指標の説明
③	交通事故死傷者数	葛西地区安心歩行エリアでの1年間の死傷者数（人）
④	平成14年度（基準年度）に対する各年度の死傷者数の割合	各年度の死傷者数÷226（平成14年度死傷者数）×100（%）

成果実績・目標	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度目標	目標値設定の説明
③	226人	223人	216人			180人	国で定めた目標数値(死傷者数が平成14年度から20%減)を設定
④	100.0%	98.6%	95.5%			80.0%	



# 事業名 交差点改良事業（安心歩行エリア 葛西地区）

実施の根拠となる法令等 交通安全施設等整備事業の推進に関する法律

## 民間委託やボランティアなどとの協働の状況

なし  あり

委託等の内容（ ）

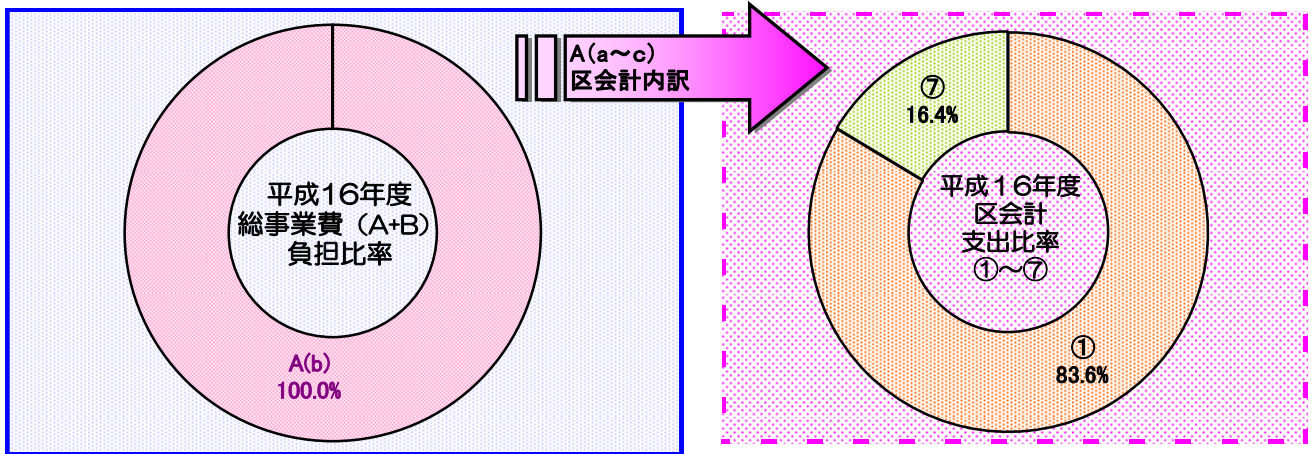
## 対象事業に関連する他の事業

	事業名	事業概要
①	歩道巻き込み部の段差解消	歩道巻き込み部分の段差を解消することによる安心して歩きやすい環境づくり
②		
③		

## その他背景・他の自治体の状況等

全国における交通事故死者数の約40%が歩行者と自転車利用者です。また、歩行中の交通事故死者の約6割が自宅付近で事故に遭遇しています。このような情勢を踏まえ安心歩行エリア整備事業が発足しました。

16年度総事業費（A+B） 25,098千円



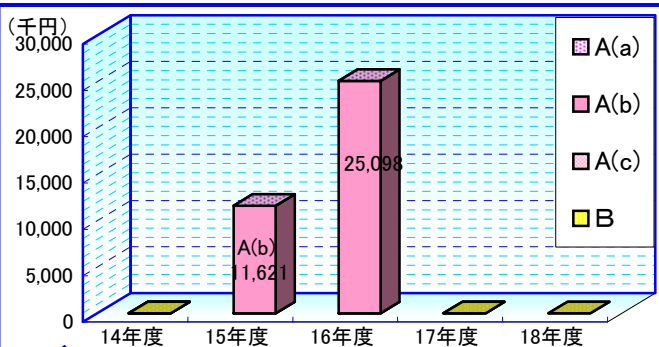
A 区の会計内訳（a~c） 25,098千円 支出内訳（①~⑦）

A(a) 国都支出金（歳入）		① 交差点改良	20,989千円
A(b) 区負担分	25,098千円	②	
A(c) 受益者負担（歳入）		③	
		④	
		⑤	
		⑥	
		⑦ 人件費	4,109千円

## B 利用者が事業者等へ直接支払う額

--	--

## 総事業費の経年変化（14年度～）



経費は全額 区が負担しています

ア 常勤職員	0.5人
イ 非常勤職員	
ウ 臨時職員	

16年度の

交差点1箇所に必要な経費

**3,585,428円**

## 経費の説明

交差点1箇所あたりの経費  
16年度経費÷7箇所（16年度施工箇所数）

平成17年度 江戸川区「行政評価」内部評価シート

整理番号	36	事業名	交差点改良事業（安心歩行エリア 葛西地区）
------	----	-----	-----------------------

所属名	土木部 保全課 設計係
-----	-------------

所管課長評価

そう思う ← → そう思わない

評価項目	評点	5	4	3	2	1	備考
<b>【必要性・代替性】</b>							
1	区が実施すべき事業である。	○					交通管理者である警察との連携が重要
2	目的を達成するために他の手段がある。		○				交通安全に関する啓発
<b>【実績】</b>							
3	目的を果たすために有効な事業である。		○				
4	事業の成果を上げている。		○				死傷者数が減少している
<b>【公平性】</b>							
5	対象者や実施回数、助成額等は適切である。		○				
6	受益者負担を検討する必要がある。					○	区民全体が対象であり受益者負担はふさわしくない
<b>【協働の可能性】 ※既に実施している場合は、拡大・維持・縮小の可能性として評価</b>							
7	ボランティアやNPOの活用が可能である。			○			交通マナー啓発活動において連携が可能
8	民間委託の可能性はある。					○	交差点改良事業については難しい
<b>【効率性】</b>							
9	工夫や改善が必要である。		○				事故の発生要因の分析により最適の
10	経費を削減できる可能性がある。			○			新技術の活用などにより可能性あり

所管部長の意見

事業実施による効果は現れている。死傷者数をさらに減少させ、安全なエリア形成のモデルとなるよう今後も継続していく。また、安全対策についての検討を重ね、効果的な事業をスピーディーに実施していく必要がある。さらに、エリア内だけでなく区全体にも効果があらわれるようにすることが大切である。

# 平成17年度 江戸川区「行政評価」外部評価シート

<b>整理番号</b>	36	<b>事業名</b>	交差点改良事業（安心歩行エリア 葛西地区）
-------------	----	------------	-----------------------

<b>所属名</b>	土木部 保全課 設計係
------------	-------------

## 外部評価委員会評価

そう思う ←→ そう思わない

評価項目	評点	5	4	3	2	1	備考
<b>【必要性・代替性】</b>							
1	区が実施すべき事業である。		○				
2	目的を達成するために他の手段がある。			○			
<b>【実績】</b>							
3	目的を果たすために有効な事業である。		○				
4	事業の成果を上げている。		○				
<b>【公平性】</b>							
5	対象者や実施回数、助成額等は適切である。		○				
6	受益者負担を検討する必要がある。				○		
<b>【協働の可能性】</b> ※既に実施している場合は、拡大・維持・縮小の可能性として評価							
7	ボランティアやNPOの活用が可能である。			○			
8	民間委託の可能性はある。			○			
<b>【効率性】</b>							
9	工夫や改善が必要である。			○			
10	経費を削減できる可能性がある。			○			

## 外部評価委員会の意見

- ・交差点左折時の自転車巻き込みの事故が多い。効果的な対応策を講じてほしい。
- ・自転車や歩行者のマナーの問題や経費の問題もあるが、それぞれの交差点に応じた手法を使い、効果的な交差点改良を推進してほしい。
- ・事故が懸念される交差点については、随時、改修(きらら舗装等)が行われ、安全性が向上している。区民の大切な命が交通事故で失われることのないよう、これからもこの施策を積極的に進めてほしい。